

## 令和4年度第1回狩猟免許試験アンケート結果

分析

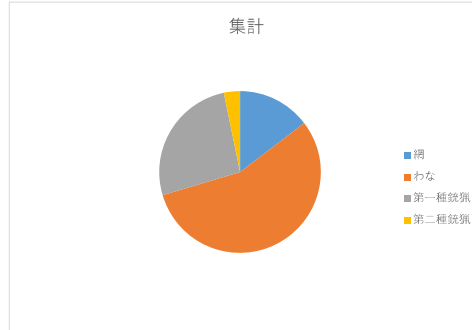
アンケート配布数206枚、回答数155枚

アンケート回収率	配布数(枚)	回答数	回答率
	206	155	75.2%

※豊田加茂環境保全課分についてはアンケート用紙紛失につき集計不可  
以下回答者155名の内訳

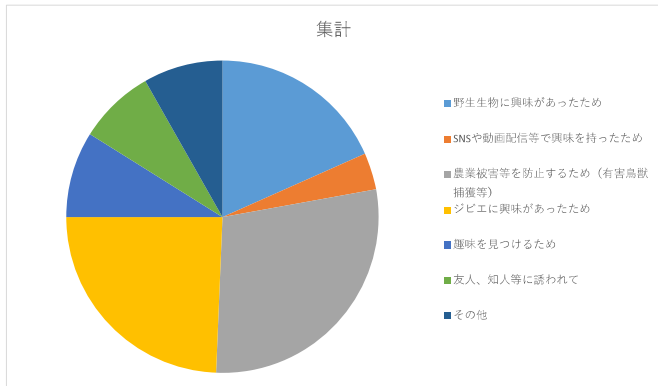
Q1. あなたが今回の試験で受験した狩猟免許の種類は何ですか。

免許種別	取得者(人)
網	32 14.6%
わな	122 55.7%
第一種銃猟	58 26.5%
第二種銃猟	7 3.2%
<b>総計</b>	<b>219</b>



Q2. あなたが狩猟免許を取得しようと考えた理由を教えてください。(複数回答可)

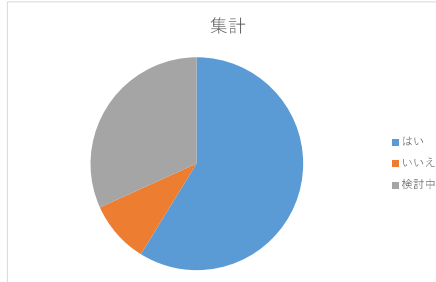
理由	回答数(件)
野生生物に興味があったため	58 18.4%
SNSや動画配信等で興味を持ったため	12 3.8%
農業被害等を防止するため(有害鳥獣捕獲等)	90 28.5%
ジビエに興味があったため	77 24.4%
趣味を見つけるため	28 8.9%
友人、知人等に誘われて	25 7.9%
その他	26 8.2%
<b>総計</b>	<b>316</b>



Q3. Q2でお答えいただいた狩猟免許を取得しようと考えた理由について、エピソードがあれば教えてください。  
別紙のとおり

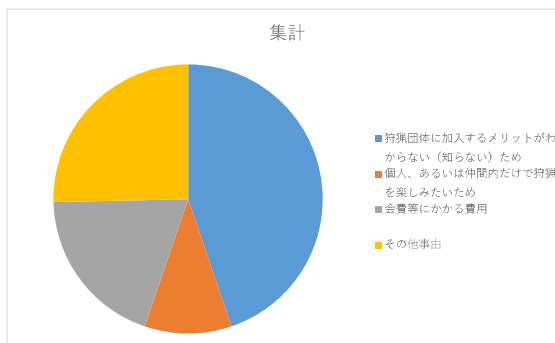
Q4. 今後猟友会等の狩猟団体に加入したいと思いますか。

回答	回答数(件)
はい	87 58.8%
いいえ	14 9.5%
検討中	47 31.8%
<b>総計</b>	<b>148</b>



Q5. Q4で「いいえ」、「検討中」と回答された方について、加入を考えていない、または検討中である理由を教えてください。

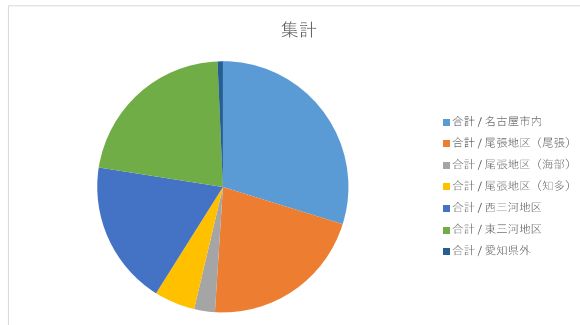
理由	回答数(件)
狩猟団体に加入するメリットがわからない(知らない)ため	30 44.8%
個人、あるいは仲間内だけで狩猟を楽しみたいため	7 10.4%
会費等にかかる費用	13 19.4%
その他事由	17 25.4%
<b>総計</b>	<b>67</b>



Q6. あなたのお住まいの地区を教えてください。また、今後出猟する場合、どの地区に行きたいと思いますか。

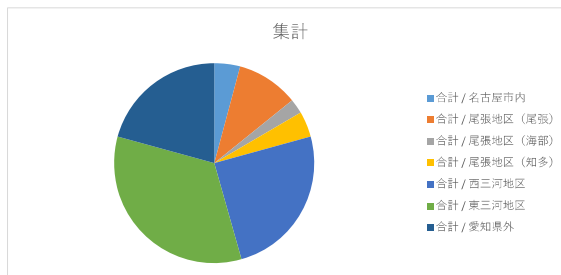
**在住地区**

合計 / 名古屋市内	45	29.8%
合計 / 尾張地区 (尾張)	32	21.2%
合計 / 尾張地区 (海部)	4	2.6%
合計 / 尾張地区 (知多)	8	5.3%
合計 / 西三河地区	28	18.5%
合計 / 東三河地区	33	21.9%
合計 / 愛知県外	1	0.7%
<b>総計</b>	<b>151</b>	



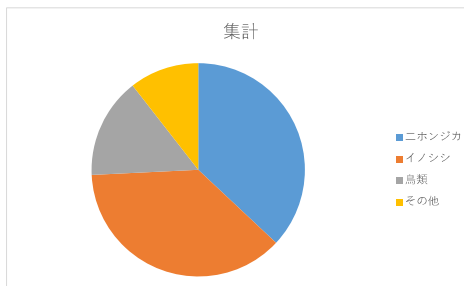
**出猟希望地区 (複数回答可)**

合計 / 名古屋市内	7	4.1%
合計 / 尾張地区 (尾張)	17	10.1%
合計 / 尾張地区 (海部)	4	2.4%
合計 / 尾張地区 (知多)	7	4.1%
合計 / 西三河地区	42	24.9%
合計 / 東三河地区	57	33.7%
合計 / 愛知県外	35	20.7%
<b>総計</b>	<b>169</b>	



Q7. 今後狩猟してみたい狩猟鳥獣を教えてください。

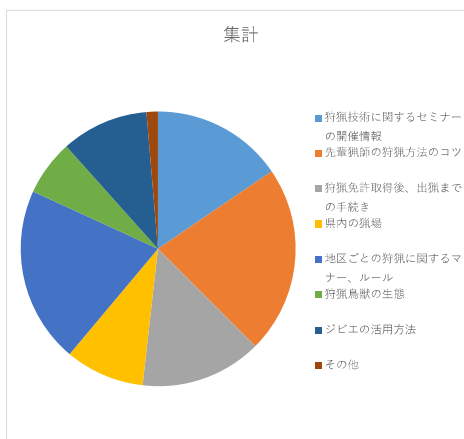
獲物	回答数 (件)	割合
ニホンジカ	112	37.0%
イノシシ	113	37.3%
鳥類	46	15.2%
その他	32	10.6%
<b>総計</b>	<b>303</b>	



Q8. 今後狩猟を行うにあたり、愛知県の行政機関や猟友会等の狩猟団体から情報発信がある場合、どのようなものを希望しますか。

(1人につき上位3件を選択。回答数が2件以下、4件以上の場合も有効回答として扱う。)

希望する情報	回答数 (件)	割合
狩猟技術に関するセミナーの開催情報	68	15.5%
先輩猟師の狩猟方法のコツ	97	22.0%
狩猟免許取得後、出猟までの手続き	63	14.3%
県内の猟場	41	9.3%
地区ごとの狩猟に関するマナー、ルール	91	20.7%
狩猟鳥獣の生態	29	6.6%
ジビエの活用方法	45	10.2%
その他	6	1.4%
<b>総計</b>	<b>440</b>	



## 令和4年度第1回狩猟免許試験アンケート結果

## 別紙

Q3. Q2でお答えいただいた狩猟免許を取得しようと考えた理由について、エピソードがあれば教えてください。

- ・タカ狩をするため
- ・新しく友達をつくりたかった
- ・将来的に田舎暮らしをするため
- ・山に移住して自給自足生活をするため
- ・毎年、友人宅のウラにイノシシが出て、畑や水路を壊す話を聞いており、それを捕えるために取得しました友人宅はギフ八百津町です。
- ・職場にいのししが出て危険なため
- ・実家が福島県原発付近です。東日本大震災で多くの人が避難をし、イノシシがとても多く繁殖してしまいました。実家へ帰省するたび、近所の農家さんが困っている所を見て、何か力になりたいとずっと思っていました
- ・学生時代の知人や、仕事の関係者で狩猟をやっている者から話を聞いたり、テレビ番組等で狩猟をみて、もともと興味があった。
  - ・哺乳類や鳥類は鳥獣保護で普段は触れないので、狩猟免許を取得して、実際に触れたいと思った。
- ・定年に向けて何かを探していた
- ・勤めている会社の新事業開拓のため、新分野探査を行っております。
  - 里山資源の活用を調査しており、害獣駆除やジビエ利用を深く調査する目的で受けました。
- ・私は動物が大好きです。幼いころから、食肉について調べと殺の動画を見たり、自分たちの栄養のために殺される命について調べたりしていましたが、食べることが主ではないのに害獣として駆除される動物がいると知り、動物が好きな人間として見逃せない問題だと感じ、どのように関わっていけるかと考えたとき、狩猟免許を取得しようと思いました。
- ・山岳会の会員時、自然保護を担当しており、野生動物の増加えお現実問題として認識していた為。
- ・知人の話をきいて生き物にきょうみがあった為
- ・イノシシの狩猟に、きょうみがあり
- ・知人がテレビに出ているのを見たのがキッカケです。
- ・飲食業と狩猟をつないだ地域貢献を目指すため。
- ・会社利用する可能性がある為
- ・猪鹿庁という狩猟者の会社で行われた狩猟体験イベントに参加し、狩猟に対してのイメージが具体的に思うことができた。
- ・千松真也さんという方の著書を読んだことから。
- ・大切な食物を食害された。
- ・マンガ作品で狩猟の描写があり興味が出て、その後猟師の方の本を何冊か読むにつれて、鳥獣被害についても興味がありました
- ・里山の環境保全と、シカ、シシの活用に興味がありました。
- ・友人の食育の考えに共感して進んだ。
- ・自室の縁の下や天井、倉庫等に獣が侵入天井（ハクビシン、イタチ）床下（アナグマ）又、くり、ブドウ畑にシカ、サル、イノシシ等の被害あり
- ・普及課で鳥獣害担当となり、業務を進める上で鳥獣害対策に関する知識を高めることにつながった。
- ・一般的に仕入れ易い鹿、猪以外の鳥獣肉を調理提供し、多数廃棄されているジビエ肉の良さを広く知ってもらいたいです。
  - 一部の人間だけではなく、山の現状、様々な被害などを、自身も含め多くの人に認知できる様になればと思います。
- ・学校で野生動物が農作物に被害を及ぼしていることがあることを知り、取得しようと考えた。
- ・父が有害鳥獣捕獲をしていたが、その父が亡くなり捕獲を行う必要があるため。
- ・近所の方がイノシシ肉をよくくれて、自分も取りたくなった。
- ・地域で有害鳥獣捕獲を行っているが、わなの取扱いができる人材を増やすために免許を取得することになった。
- ・我家では、庭のサザンカ等の葉、野菜、果樹がシカに食われています。少しでも被害を減らそうと申し込みました。
- ・農作物を動物に取られてしまった事
- ・尾張地区に住んでいるが、刈谷猟友会に入っている。猟銃の免許は持っているが、必要に応じ追加しました。
- ・山間部移住や自給自足を考えている。
- ・自給自食生活の中に野菜・魚・動物のタンパク質は身体に必要不可欠な源だから、狩猟免許を取得しようと考えた。
- ・祖母が「作った畑が荒されて困っている」と相談してくれたので、祖母の畑を守りたくて狩猟免許（わな）を取得しました。
- ・ジビエを加工したペットフードを作りたい。有害でほかくされて、廃棄されている事実を知ってリサイクルすることに力を入れたい。
- ・有害鳥獣捕獲するにあたり、免許取得することで民と行政へとスピードでつなぐことができると、行政に携わる立場として勉強もし知識を得るため
- ・両生類に興味があり、居住地区のカエルの観察を10年ほど続けていますが、生息数は年々現象傾向です。現象理由に外来生物の捕食圧もあると考え、主にアライグマの駆除をするため狩猟免許の取得にいたりしました。
- ・害獣を捕獲し駆除するため必要でした。
- ・主人の実家（千葉県）でイノシシの被害を目の当たりにした。野生の肉の方がおいしいと聞いた。
- ・春日井市農政課よりかごわなを借りて2年間運用したが捕獲できなかった。免許取得により深く技術を磨くため
- ・私が借りている畑において、両隣そして自分とさア供物を荒らされ、市役所からハコワナを借りて仕掛け1か月余りの間にバナナのエサでハクビシンを3頭捕えることができた。以前に飼っていたニワトリが2羽被害に会ったことがあります。
- ・課内の実家は北海道で農家を営んでおり、毎年、シカ、クマの被害を受けていた。農家にとって死活問題であり、自分も何か人のために役に立ちたいと思い取得をしようと思った。
- ・東洋医学の資格を目指しており、ジビエの薬膳としての効能に着目し、それを体現したく免許取得に動きました。
- ・家の近くに出るから駆除するため
- ・知人にハンターがいたため
- ・前々から興味があったのですが、子育て、費用等の問題が解決するまで手を出せなかったというのが実情でした、ようやく余裕ができてきたので始めることになります。

- ・祖父母が山間部に居住しており、シカによる被害を聞いたことがある。
- ・故郷で食害に悩んでいる。地元の猟友会に所属して畑を守りたい
- ・地元のジビエ飲食店で食べたシカのローストやアナグマのステーキがとても美味しく自分で作ってみたいと感じました。
- ・実家の土地がイノシシに荒されるから
- ・若い頃に一度興味を持ち、たまたま知人に狩猟している方を紹介してもらった。T V等 (YouTube) 駆除のあり方について疑問を持ち、自然を今よりも身近にうまく共存する生活をしたいと考えた。駆除事態は、必要な場合もあるが、もっと人が先にやるべきことがあるのでは?とも感じており、正しく学ぶためにもとりたいと思いました。
- ・野生動物の生態に興味があるから
- ・父が狩猟免許を取得して今も害獣捕獲を実施しているが、87歳と高齢のため私が引き継ぐことになり今回取得試験を受けた。